



「つながりワーカー」は、地域で孤立している人や孤独な人に気づき、つながり、つなげ、見守る人材です。中央共同募金会では、つながりワーカーを養成する講座・研修の開催と、その実践として地域での孤立に気づき、つながり、見守る活動（地域でのサロン・見守り活動・相談支援等の活動）に対して助成を行っています。詳しくは助成応募サイトをご覧ください。

研修を受講した団体のその後の様子をご紹介します

NPO法人ソンリッサ（群馬県前橋市）

NPO 法人ソンリッサは、「ひとりで抱えずに、優しいつながりがある社会をつくる」をビジョンに、2017年に群馬県前橋市で設立されました。ソンリッサでは、独居高齢者見守りサービス「Tayory」、地域サロン事業、企業や地域に向けた研修を活動の3本柱に掲げ、高齢者の孤立・孤独を笑顔に変えるためのさまざまな企画を実施しています。



つながりワーカー研修の様子

代表理事の萩原涼平さんは、幼いころ、祖父の他界により一人暮らしとなった祖母が、周囲との接点が減り、笑顔が見られなくなったことを経験します。萩原さんが祖母を訪ねるとおしゃべりを楽しくしてくれたりはしましたが、「もっとと自然に人と話ができる環境があれば」という思いを強く抱えていたと言います。そうした原体験がソンリッサの活動を生み出しています。

そんななか、群馬県共同募金会のフェイスブックから「つながりワーカー研修」の情報を得た萩原さん。ソンリッサが目指す「高齢者が孤立しないよう、つながりをつくって社会参加につなげる」という思いと一致することに加え、ボランティアに向けた研修の必要性から事業に応募をしました。

2023年3月に開催したつながりワーカー研修は、SNSで告知をし、ボランティアのメンバーだけでなく、自治会や教員など10人の参加がありました。事務局長の萩生田愛実さんは、「高齢者、子どもと親、成人など、いろいろな事例とワークがあったので、さまざまな視点から自分事として地域の問題を考えられたのかなと感じています。また、講義が一連の流れとなっているので、運営側の負担が軽減されました」と話します。さらに、「ワークをとおして参加者同士で地域課題を認識できたり、思いを共有できました」と振り返ります。

「サロンの現場や日常的なかかわりの場面で、『今までどのように声をかければいいのかわからなかった』という声もありましたが、実践の場で声かけの仕方は変わってきたのかなと思います」と萩原さん。「今後、自治会や民生委員向けにも研修を開催し、誰もが孤立させない地域づくりに向けて、取り組みを深めていきたいですね」と意気込みを語ってくれました。



Tayoryスタッフ利用者訪問

DATA

NPO法人ソンリッサ
〒371-0825
前橋市大利根町1-30-8
斎藤貸住宅 西南2番
受付時間 9:00 - 17:00
電話番号 027-226-5013
ホームページ <https://sonrisa-npo.com/>

編集・発行

特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター (CLC)
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル 1階
TEL 022-727-8730 FAX 022-727-8737

「つながりワーカー」を養成する教材ができました！

URL <https://clckyobo2022.wixsite.com/kyobo>

